

市政おおの

No.276

52. 5. 1



よく晴れ渡った4月14日、六呂師小学校の児童が小鳥の巣箱10個を学校の裏山に取り付けました。

週1回の「緑の時間」です。「小鳥が安心して住めるのはどんな所かな」17人の子供たちは木立の中の残雪を踏みながら格好の木を探します「ここがいいよ」ドリンクのふた

またが決まりました。向こうでは松にハシゴがさし掛けられています。

巣箱は5角形、6角形、大小いろいろで、冬のクラブ活動の時間に自分たちで作ったものです。

作業が終わるころウグイスが鳴き出しました。

女の子が「使ってくれるかな」とつ

ぶやきますと、男の子は空に向かって「小鳥さん仲よくしようよ」と呼び掛けました。先生は「どんな小鳥が住むか、そっと観察しましょう」とみんなを見渡しなが、汗をぬぐっていました。

(写真は学校の裏山へ巣箱を取り付ける六呂師小学校児童)

伸ばそう、ふやそう、この緑

700人、緑化推進を誓う

56年までに12万ヘクタール

宝慶寺で県緑化大会



風船に松の種を結び大空へ飛ばす
上庄中学校生徒

「伸ばそう、ふやそう、この緑」をテーマにした10万鉢造林達成第19回福井県緑化大会が4月21日宝慶寺の千本田で中川知事、寺島市長、国会・県議会議員、県下の林業関係者上庄中学校生徒など約700人が参加して行われました。

当日はうららかな晴天に恵まれ参加者の出足も好調。定刻の午後1時には式典が始められ、中川知事は式辞で「21世紀への希望に満ちたふるさとづくりを目指し、青い空、豊かな水、広がる緑を柱とした「グリーン県政、

を推進しています。この広がる緑の中心は造林であり、これまで県民関係者のご努力により造林10万鉢の達成をみました。造林は地味で根気のいる仕事ですが、健康で住みよい生活を維持確保するためには不可欠なものです。今後は昭和56年までに12万鉢達成を目指し、みんなでがんばりましょう」と述べました。

主催者のあいさつに続いて10万鉢造林達成尽力者、優良造林コンクール、造林地手入コンクールなど8種目20団体、42個人の表彰が行われ、最後に上庄中学校生徒約220人の「みどりの歌」の大合唱が山間に流れる中を、各生徒が持つ「県の本黒松の種」を結んだ色とりどりの風船が一斉に放たれると拍手と歓声が起こり緑の山あいに見える風船は美しいフィナーレを飾りました。式典の後、参加者は式場横の上神田約0.5

上庄の花いっぱい運動

どの区にも共同花壇

苗づくりから管理までを組織の力で

「花いっぱい運動」は今から9年前の福井国体に市民みんなが力を合わせて進めてきた市民運動です。

その遺産が現在も市内のあちこちに「共同花壇」「フラワーボックス」などの形で生き続けています。

なかでも上庄地区の活動は活発でどの区にも共同花壇があり、これが区民の心の寄り所になっています。

ことしも春の花壇づくりが始まり4月20日には上庄の希望の会(50、60歳台の人で組織)医王寺支部の人たちが丹精込めて作ったパンジーの苗5,000本が各区に配られました。

今は上庄のどの区の花壇、沿道花壇にも白、黄、紫、赤色のきれ



パンジーの苗5,000本を各区へ配る(上庄公民館前で)

んなパンジーが咲き誇っています。

上庄地区には、村づくり運動の推進母体として「上庄をよくするつどい」があります。

その1部門に花いっぱい運動推※



記念植樹をする大会参加者

に2年生の杉苗 1,500本を記念植樹して緑化推進を誓い合いました。

この大会で表彰を受けた大野市民は次の方々です。(敬称略)

▶10万^円造林達成尽力者(知事感謝状)大野市森林組合 ▶優良造林コンクール(農林大臣賞)広瀬竜三郎(元町) ▶造林地手入コンクール(知事賞)玉木仁吉(阿難祖地頭方) ▶森林国営保険事業尽力者(知事感謝状)大石貴之(大野市森林組合) ▶造林労務作業班(緑化推進委員会委員長賞)大野市森林組合西谷班 ▶環境緑化尽力者(緑化推進委員会委員長賞)上庄共栄会

※進委員会(石黒又栄委員長)があり毎年地区全体への運動の進め方、花作り講習会の開催、苗のあっせん、コンクールの実態などに努め、各区の花壇づくりの相談役になっています。

各区では区長が中心になって花壇を作り、婦人会が苗を植えて、管理する方法がとられてきました。

現在ではサルビア、マリーゴールドの種は、婦人会支部長の交替の時の引き継ぎ物になり、婦人会活動にまた区の行事に「花いっぱい運動」は確実に定着しています。

石黒委員長は「今後は老人、子供の参画をより一層多くし、花をとおして明るい地域づくりを図っていきたい」と話しています。

夜の交通事故を防ごう 明るい服装、夜光タスキの着用を

近年夜間の交通事故が増加しています。

昨年1年間の事故内容を見ますと、午後6時以後の発生は34件で全体の20.4%、原因は車の運転者が「自転車や歩行者の発見が遅れた」ということがほとんどです。

これらの事故を防止するには運転者の細心の注意と、自転車や歩行者の安全

山火事をなくそう

空気が乾燥して山火事の発生しやすい季節
山菜採りやハイキングの際には、タバコの投げ捨てや、たき火は絶対やめましょう。



に対する十分な配慮が必要です。

夜間の黒い衣服は40~50^{センチ}が見える限界だといわれています。夜の外出には白色や黄色などの明るい服装にし、雨カッパや持物などに夜光反射材(市販されている)を付けましょう。また、お年寄りには市老人クラブ連合会が作った夜光タスキを大いに

利用しましょう。

大野警察署では飲酒運転、スピード違反の取り締まりを強化して、飲酒運転は即刻逮捕、傘さしや無灯火の自転車乗り等のルール違反者には始末書を取り厳重に注意するなど交通安全には特に力を入れます。



自転車に夜光反射材を付ける市民

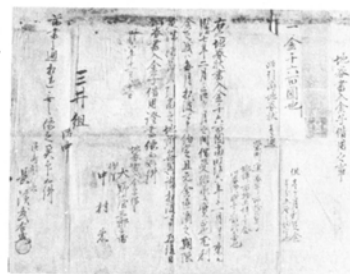


④8旧藩店

「大野屋」の文書

この写真の借用証文は、その価値を知られることなく、永い年月某家の唐紙の下張りとして眠っていたのですが、今度大野屋研究の重要な資料として見付け出

されたものです。日本各地の藩店「大野屋」の活躍は、地方史上誇るに足るものです。(奥越史料六号



…5月末発行予定)

貸主は天下の三井組(後の三井銀行)。開港地神戸の繁華街に、地券価格で2,302円の値打のある大野屋所有地があったこと、その他

いろいろのことがこの証文からうかがわれます。大野丸造船、蝦夷地開拓、箱館戦争の軍費などが各地の大野屋の利潤で賄われました。藩店は大阪、函館、横浜

神戸等主要都市のほか30余の店が多角的経営を行い、本店は現在の広島屋前辺にありました。



株式会社
伸芽会



マンツーマン方式で治療をしている有終南小学校の「ことばの治療教室」

花便りとともにうれしい贈り物が市に届きました。1つは、言語障害治療センターの施設設備の資金として、東京の株式会社伸芽会（代表取締役大堀秀夫氏…大野市出身）から1,000万円。2つ目は越前大野城展示品にと「福井—江戸間五十三次」の墨絵風俗びょうぶ1双が坂井保さん（86歳、春日1丁目）から寄贈されました。市では早速寄付、寄贈者のご意志に沿い活用させていただきます。

言語
障害

治療センターに1,000万円

有終東小に併設計画

1,000万円の寄付者は東京で教育塾を開いている株

式会社伸芽会で、市はことしから3カ年計画で建設する有終東小学校の中に広さ170平方メートルを確保して、相談、治療指導、遊戯検査などの室を設け、この寄付金で遊戯聴力検査装置、補聴効果測定装置ビデオテープレコーダーなど治療に必要な機械を備える計画です。

現在、大野市には有終南・下庄の両小学校に「ことばの治療教室」が設置されており、約20人の児童が治療を受けていますが、新設のセンターはこの両教室を統合して、施設設

県営真名川発電所が完成

最大出力二万四千キロワット



事業費約40億円をかけ完成した県営真名川発電所

この発電所は建設省が九頭竜水系の治水対策として、昭和42年から総事業費約350億円をかけて建設を進めている真名川ダム下流約2,200メートルの地点にありこのダムから水を引いて発電をしています。

1年目は真名川ダムの水位が常時満水位に達しないので最大出力1万2,000キロワット、年間発電量4,240万キロワットで運転します。県営発電所としては「中島」「滝波川」に次ぐ3つ目のもので、電力は北陸電力へ1キロワット4円90銭で売り渡されています。

五条方で昭和46年から建設が進められていた県営真名川発電所が完成し、4月1日から営業運転を始めました。

総事業費は約40億円。ダム水路式最大出力1万4,000キロワットで年間発電量は6,420万キロワットです。

スマイル

「田植え時期」

もしよかったですらお手伝いします

— ネコ

備を充実し、対象も市内全域の幼児と児童に広めます。

大野市特殊教育研究会の野田俊吉会長（有終南小学校長）は「言語障害は早期治療が大切であり、幼児の間に治療するのが最も効果があります。治療センターが完成しますと、学校教育と社会福祉の行政が提携する体制が出来、県下では例のない施設になります」とセンターの素案作りや伸芽会への働き掛けなどこれ

までの活動を振り返りながら話していました。

同研究会の調査では、対象となる3～11歳までの幼児、児童は現在市内に59人おり、関係者からは1日も早い開設が待たれています。

センターが出来ますと、幼児は遊びの中で治療を受けることが出来、児童は学校で学びながら週1～2時間センターへ通い、教師と子供のマンツーマン方式で治療が行われることとなります。

伸芽会は「おちこぼれの子供をなくする」ことを目標に教育塾を経営その収益金で伸芽会育英財団を設立して、福井県出身学生の育英や書き初め練習会、社会科移動教室などを行い、大野市の青少年もこれまでに多数お世話になっています。

②水道はなぜ必要か



私たちは水がなくては1日も生きていけません。しかも、その水は「清浄な水」であることが要求されます。

わが国で上水道建設が始まったのも、いつに私たちがコレラやセキリなどの恐ろしい伝染病から守ることにありました。

このように、安全な飲料水の確保は上水道の必要性の第1ですが、明るく文化的な生活を営

むための生活用水、産業用水、そして火災から生命や財産を守る防火用水などの供給も水道の大きな役目になっています。

水道は「良質で清浄な水を安定供給する」ところに特徴があり、伝染病の不安、消火の不安、時期的な水不足の不安、水質汚染の不安の「4つの不安」を解消し、近代的な都市建設の基礎となるものです。

大野市はこれまで地下水に恵まれてきました。しかし、社会情勢の変化につれて、冬期の水不足の不安、水質汚染の不安が増大し危機にひんしています。

これを解決するには「安定した水」「安全な水」の確保であり、この対策は上水道建設の外はありません。

水道のはなし

坂井保さん



寄贈された久隅守景作のびょうぶ

福井—江戸 五十三次 びょうぶ1双を城に

旅の様子が克明に描写

坂井保さんは4月10日、江戸前期の絵師久隅守景の作と伝えられる「福井—江戸間五十三次」の風俗びょうぶ1双を市に寄贈されました。

高さ170㎝、長さ370㎝の金粉仕上げの墨絵で、福井九十九橋から江戸両国橋に至るまでの宿場風景、城下町、川の渡し、峠などの様子が克明に描かれていて、当時の風俗が手に取るようにわかります。描かれた年代は定かではありませんが、久隅守景が金沢に住んでいた時、懇意にしていた某福井藩士の依頼で書かれたものと言われています。

久隅守景は元禄年間に活躍した人で、江戸時代前期を代表する画家狩

野探幽の高第であり、作品「加茂競馬」「宇治茶摘みびょうぶ」は現在国の重要文化財になっていますので、このたび寄贈のびょうぶも文化財としての価値は極めて高いものと推定されます。

坂井さんは「このびょうぶは昔の旅の様子がよく描かれているので、私が秘蔵するよりも城に展示して多くの市民に見ていただいた方が価値も高まります。また、越前大野城の所蔵品が1点でも多くなれば城の運営に役立つと思い寄贈しました」と話しています。びょうぶは現在越前大野城2階に展示してありますので一度ご鑑賞下さい。

人事移動

4月1日付け係長級以上()内は旧任

- ▶小山公民館長林秀夫(出納課長補佐)
- ▶庶務課長補佐松田光男(福祉事務所次長)
- ▶出納課長補佐桜田達夫(監査委員事務局次長)
- ▶福祉事務所次長斉藤忠男(生活環境課長補佐)
- ▶生活環境課長補佐沢田利栄(大野地区消防本部・署総務課長)
- ▶監査委員事務局次長土蔵茂弘(農務課農地係長)
- ▶有終会館長補佐兼体育課長補佐本多彰(有終会館長補佐)
- ▶農務課農地係長加藤健一(農務課主査)
- ▶農務課土地改良係長勝矢義視(農務課主査)
- ▶衛生処理場係長玄覚慎吉(保険衛生課)
- ▶保険衛生課環境衛生係長兼水道係長土谷春栄(同課環境衛生係長)
- ▶福祉事務所主査沢田正義(同課)
- ▶市民課主査佐藤善夫(同課)
- ▶保険衛生課主査山川奥久(同課)
- ▶土木課主査早川三郎(同課)
- ▶都市計画課主査神谷貞夫(同課)
- ▶大野地区消防本部・署総務課長中村武臣(都市計画課)
- ▶庶務課付田莉子利一(小山公民館長)
- ▶庶務課付土川始(衛生処理場係長)



◆消費生活モニターにご意見を

次の方々がことしの消費生活モニターに委嘱されました。モニターは消費者の苦情や要望などを聞き、市行政へ反映させる役割をします。

あなたのご意見や、ご要望を近くのモニターへどしどしお寄せ下さい

- 野田佳江(春日2丁目) 松井欣子(泉町) 加藤照子(本町) 長谷川佳子(春日2丁目) 梶原千代子(中荒井) 杉山八重子(春日2丁目) 篠地澄子(上舌) 四方まゆみ(中野町1丁目) 幅口紀子(有明町) 山田みよの(春日) 野波久代(月美町) 岩本静枝(高砂町) 遠藤つ与子(城町) 高橋順子(水落町) 敬称略

▶軽自動車月割課税、還付を廃止

地方税法の一部改正で、4月1日から軽自動車税の次の点が変わりました。

①市内に居住する人の中で軽自動車の名義変更が行われた場合、従来のような月割課税や還付はしません

②車検に必要な「納税証明書」は領収書に添付されることになりましたので、大切に保存して下さい。

◆成人大学受講生を募集

成人大学運営委員会は今年度の受講生を次のとおり募集しています。

〈資格〉大野市の一般成人

〈申込期日〉5月8日(日)
〈申込方法〉電話かはがきで氏名、住所、年齢、職業を天神町1-1市教育委員会社会教育課へ
〈受講料〉2,000円
〈学習内容〉「あすの大野市を知ろう」を年間の主題にして、月1回地下水、交通、教育、医療、歴史などを学習します。

◆探鳥会は15日早朝

愛鳥週間にちなんで探鳥会が次のとおり行われます。ご参加下さい。

〈日時〉5月15日(日)午前5時15分から(小雨決行)

〈場所〉亀山公園

〈日程〉5時15分

市郷土歴史館前集合・開会、5時30分~7時30分野鳥観察、7時30分~8時スライド学習(越前大野城)



◆日赤社費に協力を

日赤社員を5月31日まで募集しています。社費は300円以上です。ご協力下さい。

◆施設めぐりにどうぞ

市の施設や事業を紹介する「施設めぐり」を次のとおり行いますのでご参加下さい。希望者多数の場合は受付順に締め切らせていただきます

今年度はこの後、7月上旬と10月中旬に行う予定です。

〈日時〉5月27日(金)午前8

時30分~午後5時(雨天決行)

〈集合〉8時10分までに市役所前へ

〈対象〉健康な一般成人100人

〈申し込み〉官製はがきに「施設めぐり申し込み」氏名、住所、年齢、職業、電話を書いて天神町1-1市秘書広報課へ

〈経費〉100円(宝慶寺宝物殿拝観謝礼)

〈持参品〉水筒、雨具、(昼食は市で準備します。)

〈主な見学場所〉開成中、葬斎場、清掃センター建設現場、カントリーエレベーター、奥越高原牧場、奥越青少年の森、真名川ダム、宝慶寺

◆物価統計調査20~27日

「昭和52年全国物価統計調査」が5月20~27日の間行われます。

この調査は経済運営の基礎資料を作る国の基本的な統計調査で、全国約20万店舗・事業所を対象にしています。調査員が伺いましたら、ご協力願います。

◆福井県歩こう会大野大会

福井県歩こう会大野大会が5月22日(日)午前10時から行われます。

市民グラウンドに集合して大清水→亀山→篠座→本願清水→市役所のコースです。ご参加下さい。

◆耳鼻更生相談は19日

耳鼻更生相談が5月19日(木)大野保健所で行われ県立病院の医師が相談に当たります。ご利用下さい。



「花の命は短い」と言い古されているが、今春の桜は本当にパツと咲いてパツと散った感じ。毎年満開のころになると、風に吹かれたり雨にたたかれたり、惜しまれてならない。まさに「月にむら雲、花にあらし」である▼でも、その後に展開される新緑の世界は、目覚めるばかり美しく、大気を腹いっぱい吸い込んで大空を泳ぐこいのぼりの下、五月の太陽を浴びてきらめくカキの若葉。そよ風に揺れる柳の薄緑。さては枝の先端から急速に広がるケヤキの緑等々、大野盆地は新緑の香りに包まれる▼防風、防音、空気の浄化作用から、人の心に憩いを与える働きまで、緑化の効用は実に大きい。緑の恩恵を多分に受けている私たちは幸せである。緑を大切にします▼この意味からも、去る四月二十一日宝慶寺で県下緑化大会が開かれたこと、緑化に貢献した団体、個人が表彰されたことは実に意義深く喜ばしい人目に立たない地味な仕事であるだけに、心からの拍手を送りたい。▼六間通りにヒマラヤ杉が植えられている。この通りは車の交通量も多く、排気ガスなどで生育条件は決して良いとは言えないが、みんなが温かい心でいたわり育て、美しい並木街路にしたい。美しい緑を育てるためには、私たちの心のみずみずしい緑化がまず必要であると思う。

D 生